

こころん 通信

発行:社会福祉法人こころん
〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸 9
TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063
URL <http://www.cocoron.or.jp>

2020

令和2年(2020)が明けました。あらためて明けましておめでとうございます。

インフルエンザの流行が早まり、例年のない暖冬。加えて少ない降水量。かと思えば2年連続の日本各地の水害。豪州では半年と続く森林火災。気候変動に起因すると考えられる自然災害。明日は我が身と備えていなくてはなりません。

16年の間、これまでの軌跡をふりかえりながら現状を見つめつつ、こころんの仕事が進められてきています。そのひたすらな取り組みが認められ、去年はふくしま地産地消大賞優秀賞、ふくしま産業賞金賞、そして新年には総務省ふるさとづくり大賞の受賞に結実しました。受賞を目指して歩みを進めてきたのではありません。周囲がこころんの取り組みを認めて下さっていることに身がひきしまります。

あふれるばかりの情報過多と言っていい現代社会にあって、物は豊かにあるかもしれませんが、心の豊かさを見失わず、これまでも増し自然の摂理に学びつつ、地域に根差した歩みを進めていくうちに、これまで見えてこなかった課題とも出遭うでしょう。心してゆかなくてはなりません。その先には、まだ見ぬ景色もあるはずです。一同うち揃ってできることを伸ばしていきたいと存じます。

子年は稔り豊かさを示すとも言われ、オリンピックイヤーにもあやかって、一步一步と進めて行かれたらと考えています。

これまでの御教示・御鞭撻にも益して、御指導・御助言を賜りますよう御願い申し上げます。

社会福祉法人こころん 理事長 関 元行





特集

農業天国

だから 僕たちは土と生きる



2004年、お借りした畑での大豆栽培と施設の裏山での原木椎茸作りから始まったころんの農業。震災後、放射線を浴びた土を蘇らせると同時に有機栽培に取り組み、今はおよそ3ヘクタールの有休農地で、年間を通じてさまざまな有機野菜を出荷するまでになりました。

夏暑く、冬は極寒の厳しい環境での重労働。そんな「農業」を仕事として選んだ仲間たちがいる。

ころんファームの取り組みと働く喜びをご紹介します。

(植木、小林)

突撃取材担当：小林茂美



ころんが養鶏事業を始めた時からの立ち上げメンバー。

ころんでは11年、養鶏以外の仕事をほとんどしていないため、他部署の仕組みを学ぶ為にファームを体験した。ころん通信編集委員。

※特集記事内の吹き出し  は、記者の感想です。



こころんファームのとある1日



収穫班の朝は早い。季節や野菜にもよりますが、真夏は6時から出勤することも。ファームだけでは人手が足りないため、地域のサポーターさん(有償ボランティア)にお手伝い頂いています。

みんな出勤時間はまちまち。
1番みんなが揃うのが朝礼!

ここもいいね(^^)V



畑がたくさんあるため、覚えるまでは地図で確認。「今日の午前中はここね」



ラジオ体操と朝礼。スタッフの動きや1日の役割分担を確認します。ファームの作業場はビニールハウス3棟と畑多数。「何時から・どこで・誰が・何をする」の確認がとても大切です。

なにげない会話から
笑い声がたえない



作業予定表には、自分の体調を(心と体)、前日の睡眠時間などを記入してセルフチェック!



出荷場には朝採り野菜が積み上げられます。それを出荷班が手早く、選別⇒計量⇒袋詰め⇒ラベル貼りと手分けして仕上げます。準備ができ次第、配達担当者が納品します。



納品先のイメージがわくように図で表記。売り先が増えるのは嬉しいですね。



ファームのトラックで生活支援センターに移動。給食を他のチームのみんなと一緒にいただきます!一息ついたら、また畑に戻ります。

一度だけ、給食のカレーを食べたことがあるけど、絶品だった。いつも食べられて羨ましい!



午後はそれぞれの持ち場で作業します。写真は稲刈りの連携プレー。コンバインで刈り取った稲を、ラグビーのごとく華麗なパスワークで田んぼの外に送ります。まさに ONE TEAM!



作業終了!
1日身体を使って働くので、ご飯は美味しい!
明日もがんばろう!

冬の畑の作業は寒くてつらそうだけど、みんなと一緒にだから頑張れるのだろう。大空の下で働く開放感。これが春ならもっと気持ち良いのだろう。

せっかくファームに来るなら、春に体験したかった.....

特集 🍷 農業天国

いつ誰が来ても働きやすい職場を目指して

冬の水作業は、身体が芯から冷えそう・・・



こころんファームの作業場。みんな
で建てて、ロゴを貼りました。



ビニールハウスですが、電気が点
きます。



洗い場もありますが、水しか出ない
ので、冬は手が凍るほど冷たい！

画鋏など、混入の恐れのある
文具は使わない徹底ぶり



文具類は保管場所を明記。初めて
手伝いに来た人でもすぐわかる！



工具類は紛失がわかるように置場
を決めています。



カゴやコンテナは用途を明記。「うっ
かり足りなくなった！」を防ぎます。



受注書は、出荷時期ごとに張り出し
て、確実に納品・発送します。



出荷の基準は、作業台にサイズを
表示して、その場で測ります。



農業も受注や売り上げ管理はパソ
コンで。

ファーム体験を終えて

今、自分が進む道がわからなく迷い、悩んでいる人がいるならば、こころんファームに飛び込んでみると良いのではないかな。体を動かし、仲間と苦楽を共にする時間の中で、自分が成長し、進むべき道を見つけることができるような気がする。

半日だけどファームを体験して、自分よりずっと若いメンバーたちが、一生懸命仕事に取り組む姿を見て、自分が仕事をこなすだけの毎日になっていたことに気付くことができた。

この日から、ひとつひとつの作業を大事にしながら、働こうとところがけている。ファームのみんなに負けないようにね。

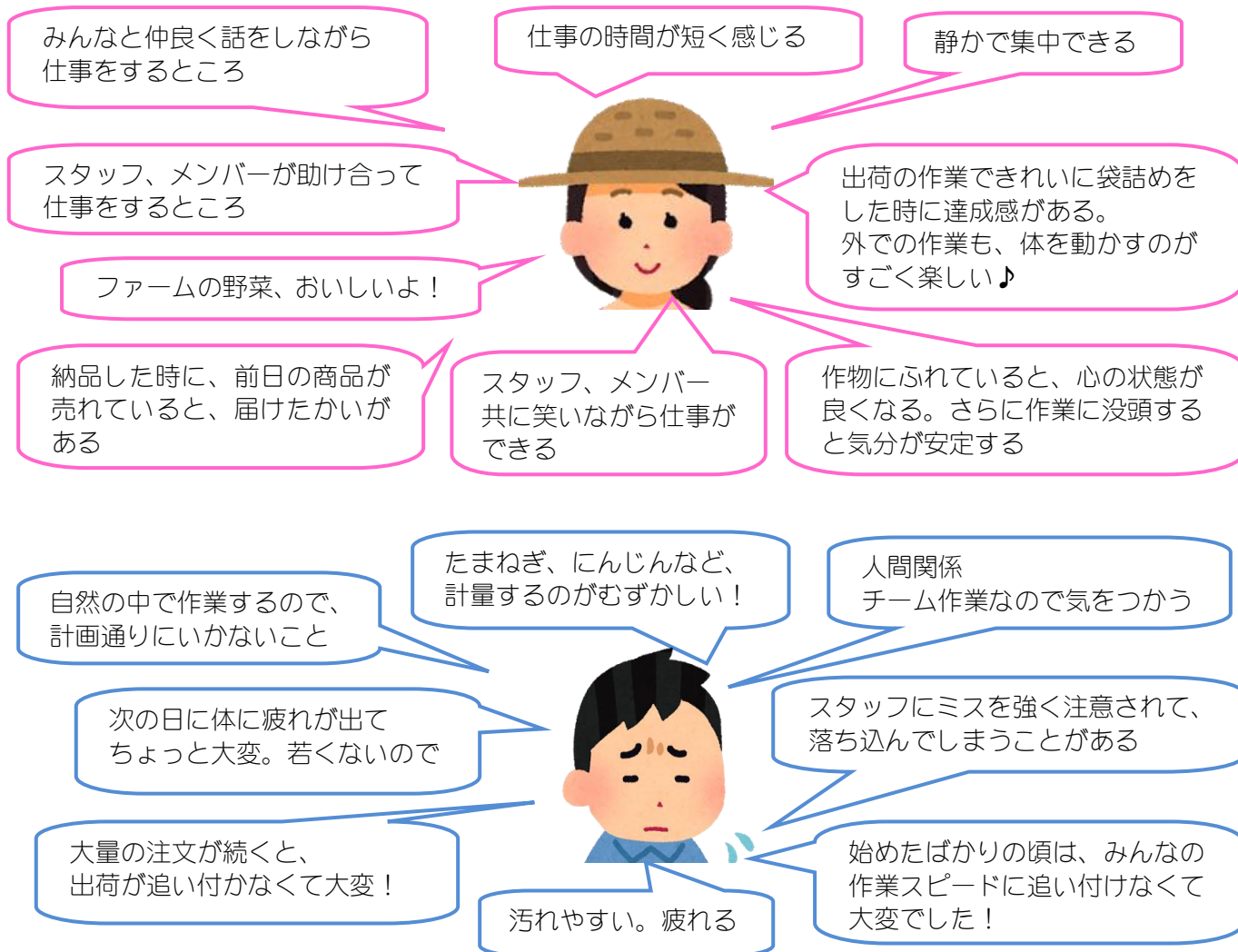
ファームは楽しい♪

こころんファームはすごく楽しいところで、いろんな野菜を作っています。管理班と出荷班に分かれて仕事をしていますが、出荷班の私は毎日楽しく野菜の袋詰め作業をしています。

みなさん、楽しいファームにぜひ見学に来て下さい。女子も大募集中です。私は、楽しく明るいファームが大好きです。(JUNG KOOK)



ころんファームのここが楽しい😊ここが大変😓



募集中!

ファームの仕事は慣れるまでは大変だけど、その分やりがいがあります。ぜひ青空の下、一緒に働きませんか？ 見学・体験大歓迎です。

続々受賞！ありがとうございます

ころんでは16年にわたり、利用者の仕事づくりや地域交流として農業や直売所経営といった「食の安全」を軸とした事業に取り組んできました。

その歩みが、国の「ノフク(農福連携)」推進をきっかけに改めて評価され、昨年からさまざまな賞をいただきましたのでご紹介します。

●ふくしま地産地消大賞 優秀賞

商工業、観光業、エネルギー産業などの分野で「地産地消」に関する取り組みを表彰。

●ふくしま経済・産業・ものづくり賞(ふくしま産業賞) 金賞

県内の優れたものづくりや六次化の取り組み、先進的な企業経営をたたえる。福島民報社主催。

●総務省ふるさとづくり大賞 団体表彰

全国各地で、それぞれのこころをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として実施。



活・動・報・告

こころん施設交流旅行紀2019

9月のレクリエーションはこころん恒例の親睦旅行。今回はいわきアクアマリンの集いですが、震災後改修された模様、私も久方ぶりのアクアマリンを楽しく歩き回りました。



特に「眼鏡持ちの魚」通称ナポレオンフィッシュには毎回なのですが釘付けになります。暫くその場で立ち見していたいけれど、班行動のためそこそこで切り上げます。

集合写真の後、ららみゆうでお昼ご飯。イオンモールいわき小名浜でぶらっとしながらも約束をとり受けていました。銘菓じゃんがら※を見つけてお土産に買って、無事に帰路につくことが出来ました。今回の施設旅行も関係者皆様ありがとうございました。(オーバーAge)

※郷土芸能「じゃんがら念仏踊り」に由来するふるさとの味。小倉あんを水を使わず焼き上げた皮で挟んだ独特のお菓子。

変わりゆくアート展で……

11月23日・24日はこころんチャリティアート展でした。今回のアート展で私は、2回目の実行委員長を務めました。

以前よりも、こころんの仲間も変わり、新しいアート展へと続いていった感じがしました。私も6年くらい自分の作品を出品してきましたが、今年はテイストを変えて挑戦してみて、良かったです。



また、工房の体験コーナーのスタンドグラスクッキーを提案して、試作を重ね、当日も教える係を担当しました。お客様にも、こころんの仲間にも喜んでもらえて一安心。最高の思い出になりました。

これからも続く、アート展がまたさらに変化し、より地域との交流を深めていけるようにしたいです。

今回のアート展は皆の思いが1つになり成功できたと思うので周りの方々に感謝し、お疲れ様でしたと伝えたいです。自分の役割が実行委員長だったので、至らないところもあったけど次の人にバトンを繋げていきたいと思えます。来年も最高のアート展でありますように…。(ゆっきーな)



ひとこと言わせて！

友達 ～私にとってかけがえのないもの～

私には重い病気を抱えている友達があります。一時期入院していたことがあり、その当時は、電話で声を聞くことしかできないけれど、励ますことならできると思い、時々連絡をとっていました。そんな時に彼女と話していて、ふと思いついた言葉が「友達は信頼の証。トモダチは一生の宝」です。

みんなひとりひとり個性があります。考え方も生き方も、生きてきた環境も違います。出会って、縁が切れていくことも何回もあります。しかし、出逢って、笑いあったり、一緒に泣いたり、時を共に過ごすことで人間(ヒト)は成長し、強い絆で結ばれます。

大切な友達や周りの人たちを大切にしてください。私は「友」という宝をこれからも大切にします。(ゆみりん)

●●● 投稿募集中！ ●●●

みなさんの投稿を募集しています。金銭管理に関するエピソードや、みんなに伝えたいことをお寄せ下さい。

宛先：こころん通信編集委員会 (根本、植木)

FAX：0248-53-3063 MAIL：shuro@cocoron.or.jp



施設だより

～こころんの各施設の近況をお伝えします

こころんファーム養鶏場●作業棟開所式

養鶏場および事務所・作業棟の完成を祝う「ここたま落成式典」が昨年4月13日、こころんファーム養鶏場で開催されました。参加者はスタッフを含め約50名。

主催者挨拶の中、関元行理事長は、これまで養鶏のノウハウを指導していただいた矢部農場の前農場主である矢部泰様、新養鶏場移転の際にお世話になった田島地区の皆様方などへの感謝の気持ちを語りました。また、長倉養鶏場長より、平成21年から矢部さんの鶏舎と作業所をお借りし、養鶏技術を受け継ぎながら続けてきた経緯を説明。「アニマルウェルフェア」に配慮した養鶏を実現するために、新天地の白河市田島地区に鶏舎と作業所を新設したこと、気持ちも新たに職員、利用者一同、一層の努力を重ねていく決意を表明しました。

◆利用者挨拶◆

最初は、私ともう一人の利用者が矢部農場の矢部さんの仕事を手伝うことからはじまりました。二人とも養鶏は全くはじめてで、矢部さんに集卵とエサやりについて教えていただきました。

仕事ができる喜びを感じながら毎日働いていました。働く場所を与えてくれた矢部さんに感謝をしています。

新しい平飼い養鶏場では、直接ニワトリに触れられるようになりました。それまでも可愛かったニワトリが、よりいっそう可愛く思えます。この子たちの卵を多くの人に食べてもらいたいと思います。(Kさん)

鶏舎、事務所が一新し、身も心もリフレッシュされ、毎日卵の選別や鶏ふん運びなどに励んでいます。選別機も新しくなり、毎日の作業がとても快適になりました。

外販にも携わっており、お客様に「美味しい卵だ」と良い評判をいただいています。これからも、地域の皆さまに喜んでいただけるような仕事を続けていきたいと思ひます。(Sさん)



当養鶏場の設立にあたり、養鶏場は東北農政局様、事務所・作業棟は社会福祉法人清水基金様、選卵選別機は社会福祉法人丸紅基金様にご協力をいただきました。ありがとうございました。

近況●なごみの家

現在なごみの家は、男性5名、女性3名指導員3名の合計11名体制でやっています。1年前に厨房での総菜販売が終わってしまい、名物のコロッケ作りが無くなり寂しいばかりです。現在は主に付箋紙の頭出しの仕事をしています。最初のうちはまごついて失敗の連続でしたが、数をこなすうちに全員がプロ級になるまでに成長しました。

朝9時半頃から始まり、14時には作業終了。その日の作業量によって15時ころまでかかる日もありますが、作業後は新聞・テレビの情報から野球の話や時には政治・経済の話に及ぶこともしばしば。中々事情がわからずちよつとついていけない人もいます。

なごみの家では希望者のみ300円の自己負担で昼食が食べられます。毎日メニューが違い、品数も豊富。栄養のバランスも考えて作って下さるので、独り者には嬉しい限りです。作ってくれるスタッフとメンバーに感謝しています。楽しい昼食の後には片付け。ジャンケンで負けた人が全員の皿洗いをする事になっています。勝負の世界なので、いくら連敗する人がいても絶対手伝いをしない事になっています。だからこそジャンケンが真剣勝負で盛り上がるのです。そんななごみの家です。良かったら見学に来てください。(金子繁夫)

ありがとうございます！



雨の日も快適お買い物！

共同募金様の交付金にて、直売・カフェ ころんやの軒先に、オーニングテントの設置工事をさせていただきました。軒先の雨除けだけでなく、外観もオシャレにリニューアル。ありがとうございました。



2台目のオーブンで、増産可能に

住友ゴム CSR 基金様より助成いただき、ころん工房がコンベクションオーブンを購入しました。

小型ながらも鉄板 4枚が入るので、たくさんのクッキーが焼けますし、オーブンが2台体制になったことで、効率良く生産できるようになりました。ありがとうございます。



寄付・寄贈をいただいた方 (順不同)

【寄附金】 鈴木泰子様 吉田孝雄様 匿名 I 様

【寄贈品】 イオン白河西郷店 (ギフトカード 33,700 円分：ファンヒーターを購入)

2019年の主な活動		編集後記
3月8日	レクレーション：カラオケ	<p>平成を特集した第22号を発行してから早1年。令和も2年目を迎えてからの発行となってしまいました。ころん通信を楽しみにして下さる皆様には本当に申し訳ございません。</p> <p>1年前にディスカバー農村漁村の宝に認定していただいてから、視察見学や取材が増えたように感じています。それに加えて、昨年末からの受賞つづきに、嬉しさと同時に身が引き締まる思いでいます。</p> <p>ころんの活動は、この遅延続きの通信以外にもホームページやSNSで紹介しております。ぜひご利用ください。(植木)</p> <p>ころん元気ブログ http://blog.livedoor.jp/cocorongenki/ Facebook https://www.facebook.com/563096437057433/</p> <p>■編集委員■ 今宮智真 小林茂美 佐藤栄一 森 智美 渡部ひとみ 植木千花 高澤宣彦 根本翔太</p>
4月1日	入社式	
4月5日	レクレーション：花見	
4月13日	ころんファーム養鶏場作業棟開所式	
5月1日	レクレーション：パークゴルフ	
5月6日	☆農業しよう☆	
6月22日	スペシャル交流会	
9月20日	施設交流旅行 (いわき)	
10月12日	ころん感謝祭 (台風により屋外企画を中止)	
11月9日	在職者交流会エキサイト：会津旅行	
11月23・24日	ころんチャリティアート展	
12月17日	レクレーション：スポーツ	
12月13～15日	福島銀行障がい者施設製品 大展示即売会出店	
12月24日	防災訓練	
12月28日	大掃除	
2020年の活動と今後の予定		
1月6日	仕事始め	
1月12日	ここたま新春セール	
1月13日	新年会 at 中島村輝ら里	
1月26日	ころん家族学習会	
2月11日	レクレーション：お菓子づくり	
	ころんや：福の市	
2月12日	ころんや：チョコレート作り教室	
3月17日	ころん：メイクアップ教室	